

令和5(2023)年度栃木県普及指導活動外部評価結果

1. 評価

事務所名	安足農業振興事務所			
評価対象事例名	魅力ある水田農業の確立(機能性大麦の生産拡大支援)			
項目	視 点	評 価		
		A	B	C
取組の背景・ねらい	①現状や問題についての分析は十分か	5	1	0
	②問題点に対し、適切な課題が設定できているか	2	4	0
	③施策に合わせた目標を設定しているか	2	4	0
活動対象・活動の内容	④活動対象の選定は適切か	5	1	0
	⑤課題や活動対象に対し、活動方法は適切か	5	1	0
	⑥市町・JA等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか	6	0	0
	⑦活動は計画的かつ効率的に実施されているか	4	2	0
	⑧農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか	6	0	0
活動の成果・今後の対応策	⑨実績に対する要因分析がされているか	2	4	0
	⑩残された課題について検討されているか	2	4	0

(1) 評価項目は、各項目の視点に基づき評価する。

(2) 評価基準は、消費者視点も踏まえた上で、以下の3段階とする。

A: 良好である B: 普通である C: 不良である

(3) 評価における数値は、評価対象事例の各項目に対して、A~Cを評価した外部評価委員数を表している。

2. 評価委員の意見

○実需者や産地など、機能性大麦の拡大に向けた環境が整備されたことを評価する。今後の産地の課題や対応、普及指導活動の役割についてさらなる検討をお願いしたい。

○実需者と連携した取組を進め、目標も実需者のニーズに対応した量を確保できる面積まで拡大が進んでいる。引き続き取組を進めてもらいたい。

○健康志向が益々高まる中、機能性大麦の作付けが増加していることは、農業者の所得向上等に非常に期待できる。

○指導・支援体制の役割が明確になっている。今後もそれぞれの立場で連携を取りながら推進していただき、生産者の所得確保や、若い世代の生産者が増えることを期待している。

○機能性大麦のさらなる生産拡大に向けて、課題克服のためのチャレンジングな施策が必要と考える。

○実需者からの要望を踏まえた取組を進め、具体的な成果にも繋がっており、良い取組となっている。生産コストと所得に係る分析を進め、今後の支援に活かしてほしい。